

編集部も実験!



実験

編集部では、特殊エネルギーを利用したことがない人を選んで実験を試みました。

身体に流れる電気を測定すると聞いて、心電図のようなものを想像していたら、意外や意外。両手の指で簡

単にチェックできるとのこと。右手の親指から、人差し指、中指……、そして左手も同様に10本の指を測るようです。チェックにかかる時間は、約3分。GDVでは、指先から放電される電気を測定し、そのデータを統合して身体全体のエネルギー量を測定します。

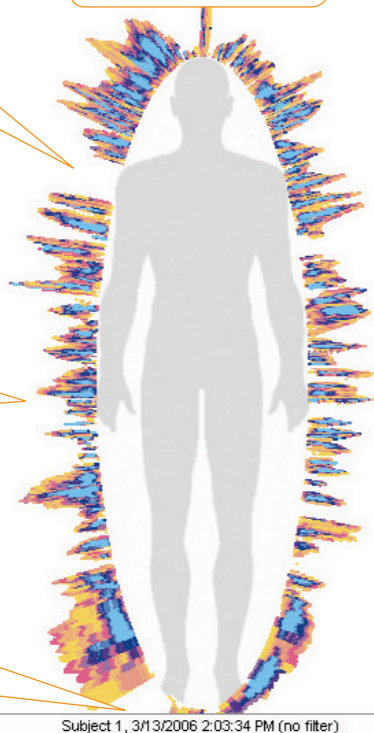
実験結果

結果が出ました！モニターの田中氏は、最近まで胃潰瘍を患っていたらしく、先日退院をしたばかり。やはり、生体電気は乱れているようです。

本人は軽い肩こりは感じるものの足首はさほど、自覚は無い様子だが、GDVで見ると右肩と右足首にはエネルギーが全く出ていない状態です。しかも体全体的にもエネルギーが感じられない部分も多いようです。

測定結果

特殊エネルギー利用前
エネルギー量 4979
左右バランス 67%



右肩
右肩にエネルギーが見られない部分が！肩こりなどが原因しているかもしれません。

体全体
カラダも全体的にエネルギーが出ていないところも多く、弱々しく感じられます。

右足首
足首より下が全くエネルギーが出ていません

Subject 1, 3/13/2006 2:03:34 PM (no filter)

また明かされた特殊エネルギー加工！ ついにここまでできた生体電気のすべてがわかる！

「心電図や脳波、筋電図が細胞の発する生体電気と関係するっていうのは、解ったけど……」健康な身体作りには欠かせない生体電気。実は、そのパワーを測定できる機械があるといつので、早速、HEART編集部は、噂の生体電気測定器を体験してみました！



これが噂のGDVです！

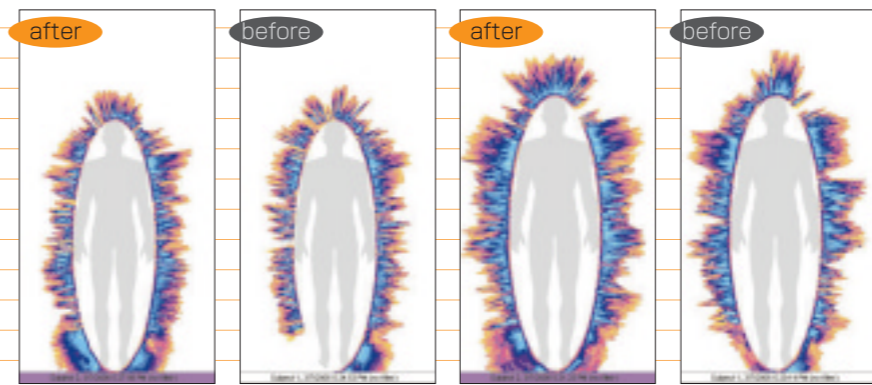
生体電流を測定できるという「GDV（気体放電化）」と呼ばれるこの機械。一体どのようにして生体電気を測っているのでしょうか？ 開発風景とともにGDV国内販売

代理 REIMEI の前場氏にお話を伺いました。「GDVを開発したのは、ロシアのサントペテルブルグ大学物理学博士コロトコブ教授です。放電技術を利用して、生体の電氣的性質を光として認識しています。GDVは、世界中の医療、スポーツ、心理分野など、幅広いジャンルで使用されています。生命活動に欠かせない生体電気が測定できるということは、いろいろな場面で健康維持・増進に期待できるということので、



コロトコブ教授

オリンピック選手の身体能力やコンディション測定にも利用されているんです」また、生体電気と特殊エネルギーの関係にも注目しているという。もうすでに、複数の方に実験を行っているそうです。そこで、編集部も実験を行わせていただくことになりました。



50歳男性

35歳男性

※すでに特殊エネルギーの様々な実験が行われている(提供:REIMEI)